

放射線量の測定と対応方法（概要版）

川越市環境対策課

224-5894

皆さんのお家で $1\mu\text{Sv/h}$ （マイクロシーベルト毎時）以上の場所がありましたらご連絡ください。市が所有する精密な測定器で再測定します。その他、不明な点等についても気軽にご相談ください。なお、測定者本人以外の方が管理する土地・建物の測定は、事前に承諾を得てから行ってください。

1. 測定のしかた

- ① 測定器の「Power」ボタンを押してください。
- ② 電源が入り、35から数字がだんだん小さくなり、35秒経過したら準備完了です。これで測定できる状態になっています。（測定器はビニール袋に入れたまま使用）
- ③ 測定地点で1分以上経過したのち数値が安定してから、測定値を読みます。

【参考】市独自の「暫定的な対応の目安」

	学校・公園など
地上 50cm	0. 2 3 * $\mu\text{Sv/h}$
地上 5cm	0. 3 0 $\mu\text{Sv/h}$

*平成24年1月1日変更（0. 2 5→0. 2 3）

【測定場所の例】

- 自宅の日常的に使う場所
玄関前・庭の地面の凹み、車の輪だち、段差ある下の方など雨水が集まって地下へしみ込むところ、庭の芝生の上、落ち葉の上など。
- 局所的に高くなる可能性のある場所
雨樋（とい）下の土、マスの上、2階テラスの排水口、樋の落ち葉や泥など

2. 対応のしかた（泥などを除去する）

- ① 泥の除去範囲を決める。
- ② 泥を除去する。
- ③ 二重にしたビニール袋に詰める。
- ④ 自宅敷地内で、人があまり近づかない場所に穴を掘り、③の袋を入れた後、土を30cm以上かける。（市でも、同様な方法で保管しています。）

（国の実証試験では、30cmの覆土で98%の放射線が減少しています。）

※作業時にはマスク、ゴム手袋等を着用してください。

※泥などを除去する方法のほかにも、「近づかないようにする」「近づけないようにする」といった対応方法があります。

使用にあたっての注意事項

- ・測定器の返却は午後 4 時 30 分までをお願いします。
- ・測定器は川越市内で使用して下さい。
- ・他人が管理している土地・施設内で測定する場合は、事前に管理者の承諾を得て下さい。
- ・測定器の又貸しは禁止しております。
- ・大切に使用してください。故意・または過失により測定器を損傷・紛失した場合は、弁償を求めることがあります。
- ・ビニールの袋は取らないこと。雨の日は二重にして使うこと。
- ・食べ物や水の放射能（〇〇ベクレルという単位）は測定できません。
- ・電源ボタンを爪やボールペンなど先の尖ったもので押さないで下さい。

(除染について)

- ・自宅などの除染は申請者が行って下さい。道路側溝や公園などは所管部署に相談してください。所管部署が不明の場合は環境対策課に問い合わせください。